

河川敷で強歩遠足

星槎高

星槎国際高校帯広キャンパス（森実さとみキャンパス長、生徒93人）は、帯広市内の十勝川河川敷で恒例の強歩遠足を行った。全校

生徒が参加。約10キロのコースを徒歩やランニングで踏破し、さわやかな汗を流し



約10キロのコースを踏破し、ゴールする生徒たち

た。

体力づくりと生徒の交流を目的に毎年実施。今年は十勝川インフォメーションセンターを発着点に3日に行われ、十勝川河川敷を東方面に往復した。

スポーツに特化したフィジカルコースの生徒はランニング、それ以外の生徒は徒歩でゴールを目指した。生徒たちは穏やかな日差しと心地よい風の中、それぞれのペースで和やかに歩みを進めた。ゴール地点では、

保護者らがテープを手に笑顔で迎え、その後、焼き肉を振る舞った。参加した紺野巧真君（16）は「いろいろな人と話しながら歩いて楽しかった」と話していた。

（村田壮一朗）